

スカパーJSATグループ
2017年度 2Q決算説明会

2017年11月2日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- システムに関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第2四半期連結決算概要

損益概要

- メディア事業の累計加入件数の減少及び宇宙・衛星事業の減価償却費の増加等により、前年同四半期比、減収減益。

(単位:百万円)

	FY2016 2Q累計	FY2017 2Q累計	増減率	通期予想 進捗率	FY2017 通期予想*1
営業収益	79,318	73,720	△7.1%	43.0%	171,500
営業利益	11,061	8,881	△19.7%	52.2%	17,000
経常利益	11,125	9,453	△15.0%	54.0%	17,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,012	6,407	△8.6%	55.7%	11,500
EBITDA *2	21,635	22,531	4.1%	51.2%	44,000

*1. 2017年9月26日に通期業績予想の修正をお知らせし、営業収益を上方修正しております。

*2. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

セグメント別連結業績の推移(2016年度1Q～2017年度2Q)

- メディア事業はコストコントロールにより、対前年同四半期比、減収増益。
- 宇宙・衛星事業は減価償却費増により、対前年同四半期比、減収減益。

(単位:百万円)

	2016年度					2017年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
営業収益	39,707	39,610	38,806	74,750	192,875	37,195	36,525
メディア事業	30,095	29,882	29,130	27,668	116,777	27,424	26,828
宇宙・衛星事業	12,626	12,718	12,580	49,822	87,748	12,524	12,428
消去又は全社	△3,013	△2,990	△2,905	△2,740	△11,650	△2,754	△2,731
営業利益	6,266	4,795	4,468	8,903	24,433	4,334	4,547
メディア事業	1,861	1,023	1,135	551	4,571	1,005	1,448
宇宙・衛星事業	4,585	3,937	3,488	8,515	20,527	3,531	3,430
消去又は全社	△180	△165	△155	△164	△665	△202	△331

メディア事業の主要指標(*)

	FY2016 2Q累計	FY2017 2Q累計	FY2017 通期目標
新規加入件数(万件)	17.4	15.9	39.0
純増数(万件)	△3.7	△3.5	1.0
累計加入件数(万件)	344.6	328.5	333.0
加入者月額支払単価(¥)	3,327	3,251	-
ARPU(¥)	2,159	2,059	-
SAC単価(¥)	37,882	37,753	-

* スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

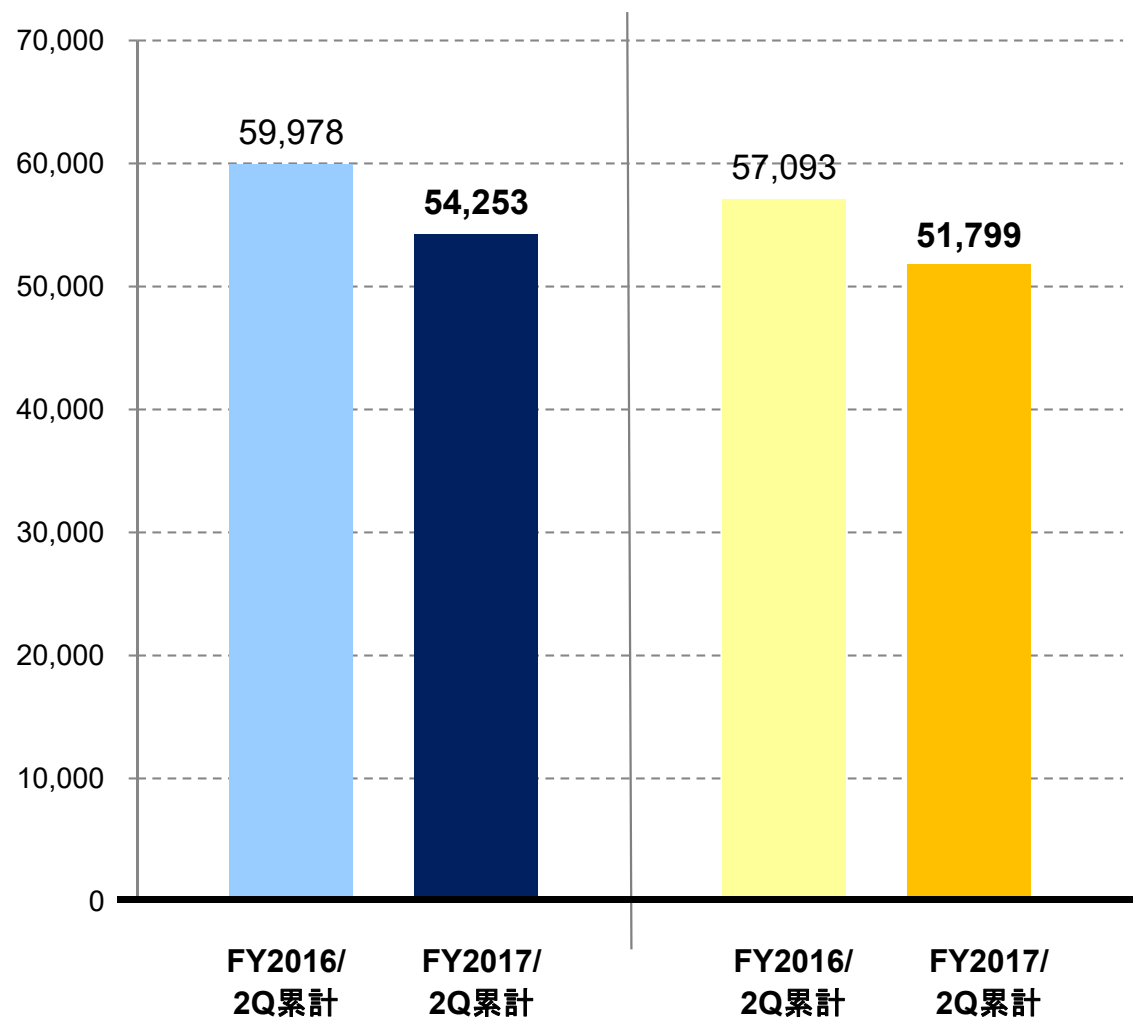
メディア事業の業績概況：前年同期比

メディア事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲57.3億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- サッカー関連コンテンツ収入の減少：△35億円
- 視聴料収入の減少(サッカー除く)：△14億円
- 基本料その他の収入の減少：△8億円

営業費用(▲52.9億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- サッカー関連コンテンツ費用の減少：△36億円
- 番組供給料の減少：△8億円
- その他費用の減少：△9億円

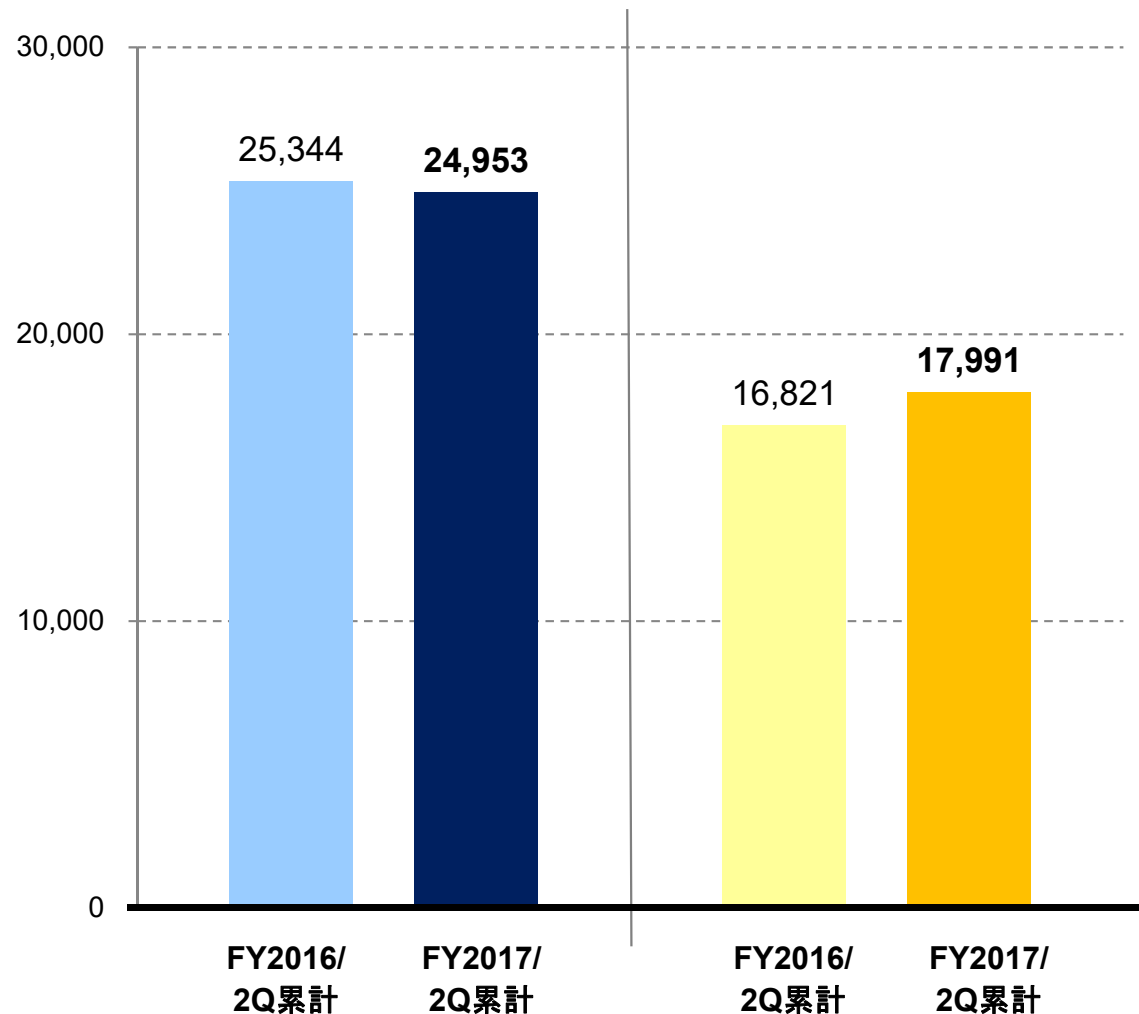
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲3.9億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

➤ 放送トランスポンダ収入の減少：△4億円

営業費用(+11.7億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

➤ 衛星減価償却費の増加：+13億円

➤ 衛星事業原価等の減少：△1億円

今後の取り組み
～メディア事業～

今後のコンテンツ

■音楽ライブ 独占放送



『Mr.Children 25th Anniversary
Live Special』

(BSスカパー！・12/23(土・祝)後9:00～)



『BIGBANG JAPAN DOME
TOUR 2017 -LAST DANCE-』

(BSスカパー！・12/13(土)後6:00～<生中継>)



『Hi-STANDARD「THE GIFT
TOUR 2017 LIVE SPECIAL」』

(BSスカパー！・2018年2月放送)

■スカパー！×KBS World オリジナル韓流ドラマ



Licensed by スカパー！&KBS JAPAN © 2017 KBS Media Ltd. All rights reserved

ドラマ『メロホリック』

(BSスカパー！・11/22(水)～毎週(水)放送 ※全10話)

■スポーツ



©B.LEAGUE

『B1全試合放送！B.LEAGUE』

2017-18 B1リーグ戦全試合放送。スカパー！オンデマンドでは全試合ライブ配信！

スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン

家中のテレビで
新基本パックを視聴出来る

お客様にもっと
スカパー！を楽しんでいただく

スカパー！新基本パック複数台（2台目、3台目） 無料キャンペーン実施



キャンペーン期間:2017年12月1日～2018年3月31日

新基本パックの2台目/3台目契約が期間中0円(通常1,700円(税抜))

ハイブリッドキャストで新しいテレビの見方をスカパー！が提案

放送と通信を融合させた新しいテレビの視聴スタイル



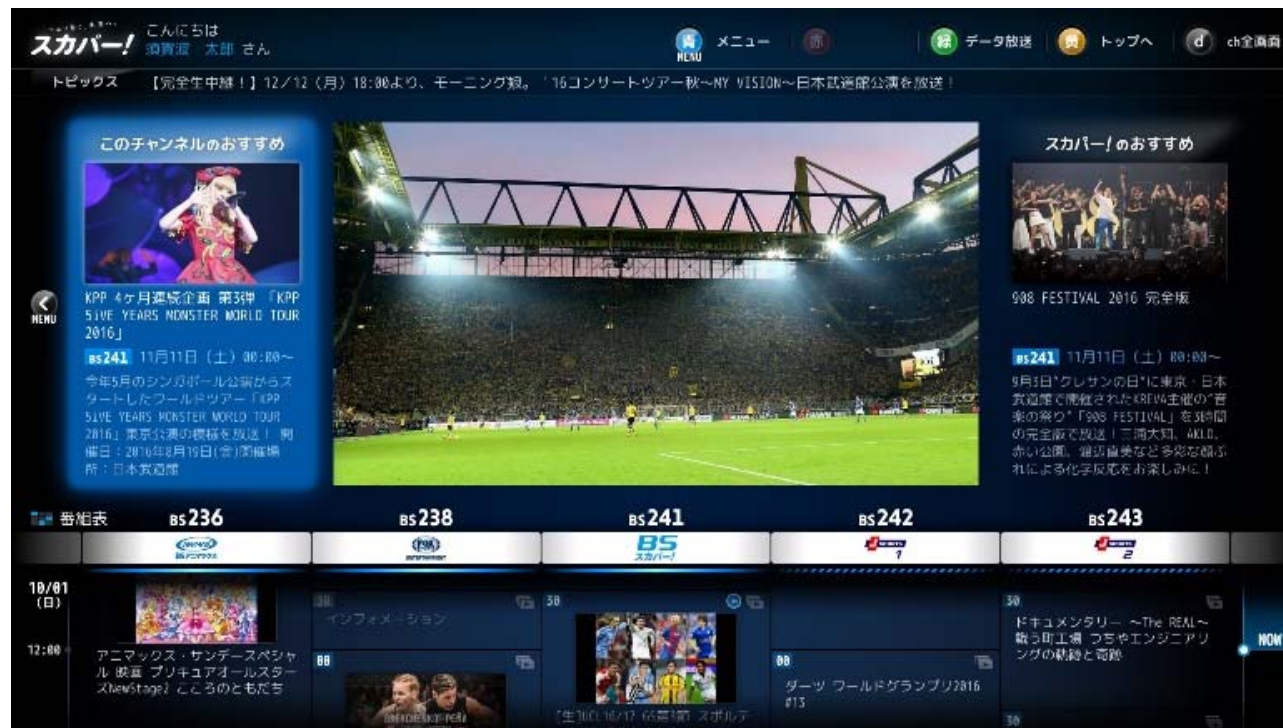
【放送の良さ】

高画質な映像を安定して視聴



【通信の良さ】

見たい番組をいつでも・すぐに



12月スタート

クラウドファンディングサービスの展開



朝日新聞社が運営するクラウドファンディング「A-port」と連携し、「インターネット」に「テレビ」と「新聞」という複数のメディアを連携させ、発信力のあるクラウドファンディングを展開します。



第1弾プロジェクト

ユネスコ無形文化遺産登録記念『秩父夜祭4K映像～ふるさとのこころを永遠に残そう』

11月1日スタート

外国語無料チャンネルまとめアプリの展開

■訪日外国人へのサービス展開



名称：『Portable News』

日本にしながら、いつでも・どこでも自分の国の情報が無料で手に入る！
日本滞在中は母国語でストレス無く視聴出来るアプリ

将来、広告による収益をあげるとともに、
2020年に向けてインバウンドマーケットの活性化を図ります

■フランス 『FRANCE 24』



■コンゴ / フランス 『africanews.』



■フランス 『euronews.』



■ドイツ 『Deutsche Welle』



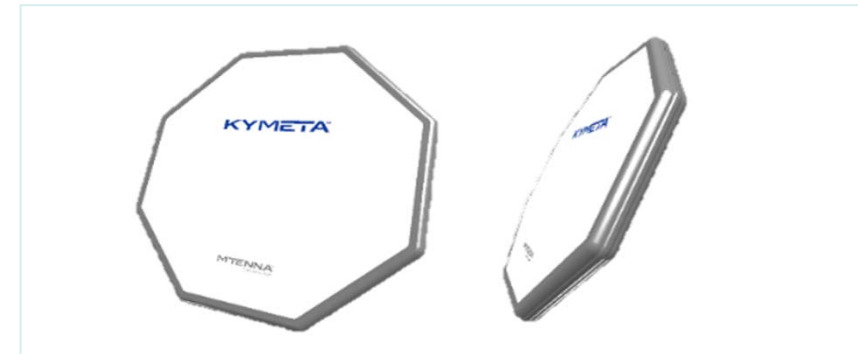
and more...

11月下旬スタート(予定)

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

Kymetaアンテナ車載局の国内デモ実施

- 日本国内にて、米Kymeta社開発の省電力・薄型アンテナを搭載した車載局を構築。
- 国内携帯キャリア、官公庁、電気メーカ、自動車メーカー等へデモ実施済。
10月、TU-Automotive Japan2017へ出展。11月にはINTER BEE2017への出展を予定。
また、10月6日には報道機関向け発表会を実施。
- 来年度の提供開始に向けてサービスプランを検討中。



Planet Labs社衛星画像の政府関係機関向け提供決定



- 2017年10月、衛星ネットワークが政府系機関向けの衛星画像提供業務を落札。2018年1月より2021年度末までサービスを提供。
- 他の政府機関についても利用中。来年度から更なる拡大を見込む。多くの民間企業においても、農業をはじめ様々な分野で利用中。



Planet Labs社

設立:2011年 本社:米国サンフランシスコ

多数の超小型衛星(通称:Dove)により地球を常時撮影

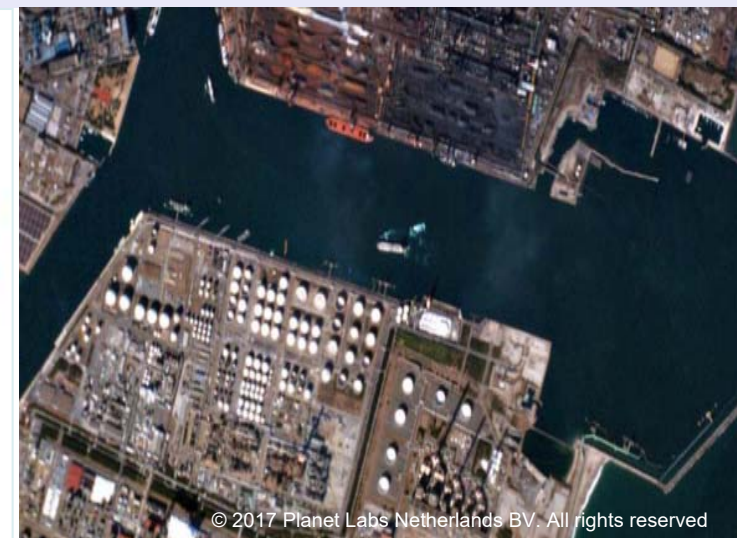
2017年7月に追加で48機の衛星を打ち上げ180機体制となった



超小型衛星



撮影イメージ



撮影画像イメージ

エンルート社の資本強化

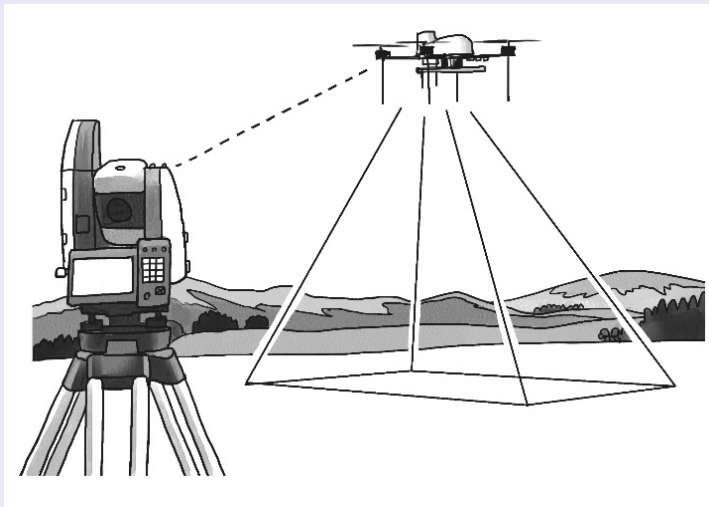


■ エンルート社をスカパーJSATグループの100%子会社化し、資本の増強を実施。事業展開を加速。

- 測量分野: 測量光学機器大手トプコン社とのパートナーシップで、測量専用ドローンを開発。
- 農業分野: ポンプメーカー大手の丸山製作所と農薬散布ドローンを共同開発。
- 施設点検分野: 当社既存顧客のインフラ事業者向けに、ドローンによる監視を提案中。
- 防災分野: 官公庁等にカスタマイズドローンを提供。

■ 衛星通信を利用した見通し外制御等、シナジー創出を図ったグループとしての事業取り組み。

<測量分野>



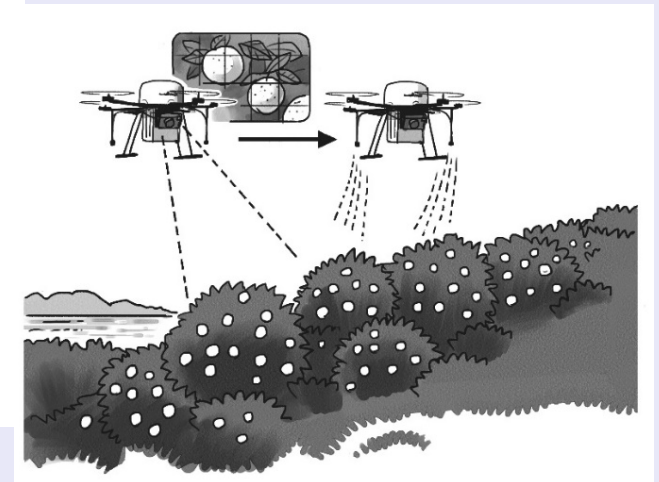
新製品: 自動追尾での連続測定

<農業分野(将来利用イメージ)>



PCやタブレットによる操作

生育情報収集・自動農薬散布

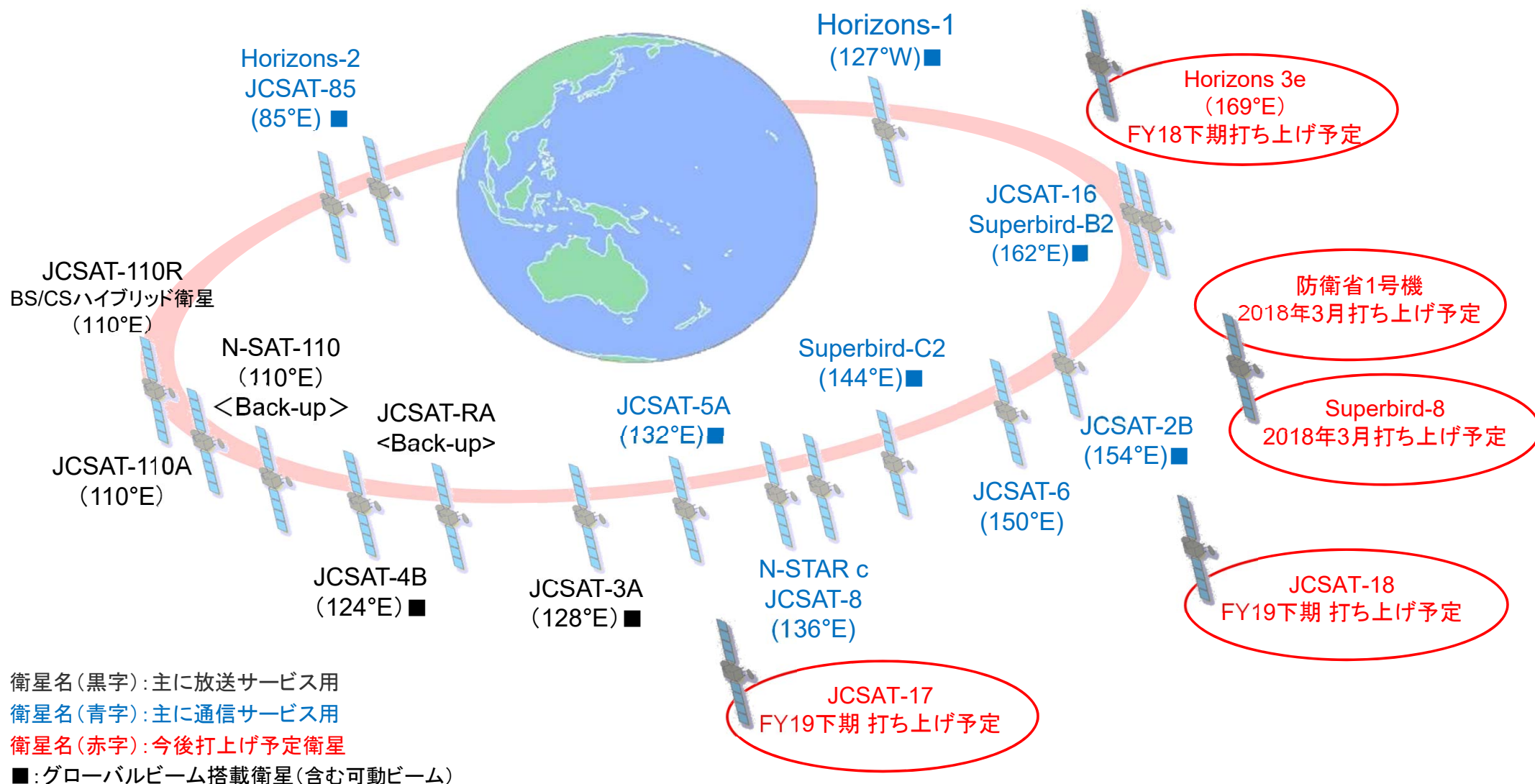


打上げ予定衛星一覧

	防衛省PFI事業1号機	Superbird-8	Horizons 3e (HTS衛星)
衛星バス	DS2000	DS2000	702MP
製造メーカー	三菱電機	三菱電機	Boeing
ロケット	Ariane5	Ariane5	Ariane5
打上時期	2018年 3月	2018年 3月	2018年度下期予定
軌道位置	-	東経162度	東経169度
衛星寿命	15年以上	15年以上	15年以上
目的	防衛省PFI事業用衛星	Superbird-B2後継機(国内)	海外・モバイル(Intelsat共同衛星)

	JCSAT-17	JCSAT-18(HTS衛星)
衛星バス	A2100	702MP
製造メーカー	Lockheed Martin	Boeing
ロケット	Ariane5	Falcon9
打上時期	2019年度下期予定	2019年度下期予定
軌道位置	東経136度	TBD
衛星寿命	15年以上	15年以上
目的	国内通信提供	海外・モバイル

北米上空からインド洋上空まで計17機の衛星を保有

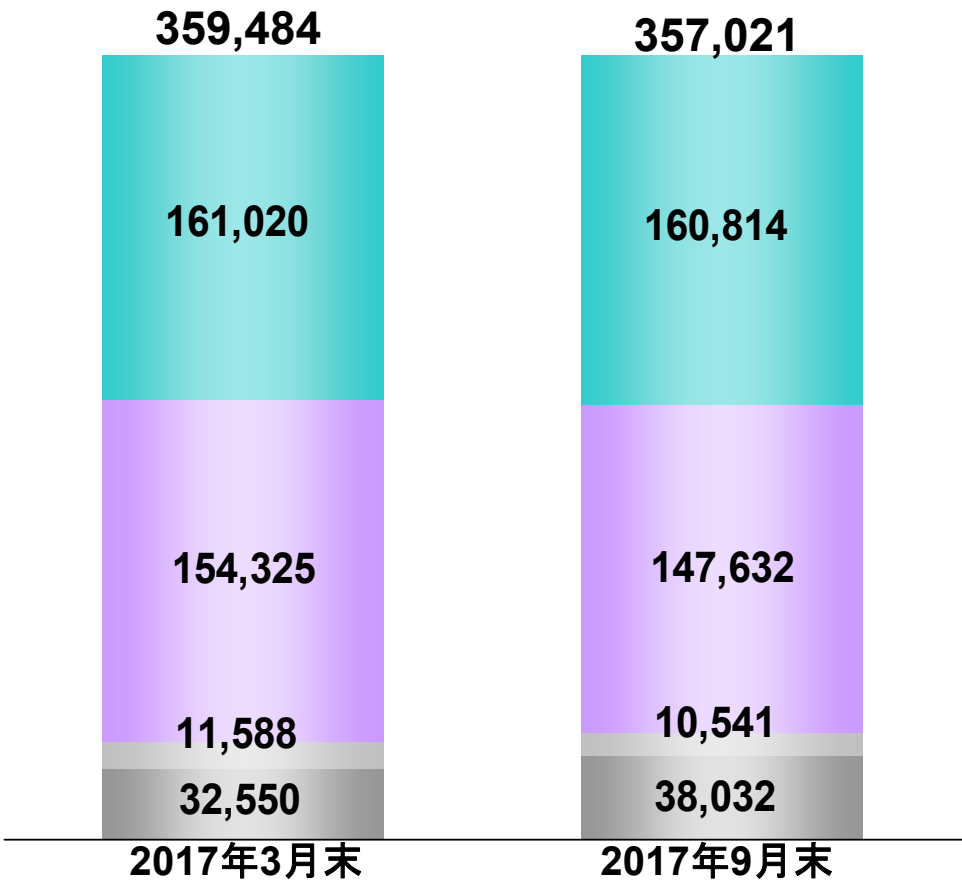


(参考資料)

連結貸借対照表

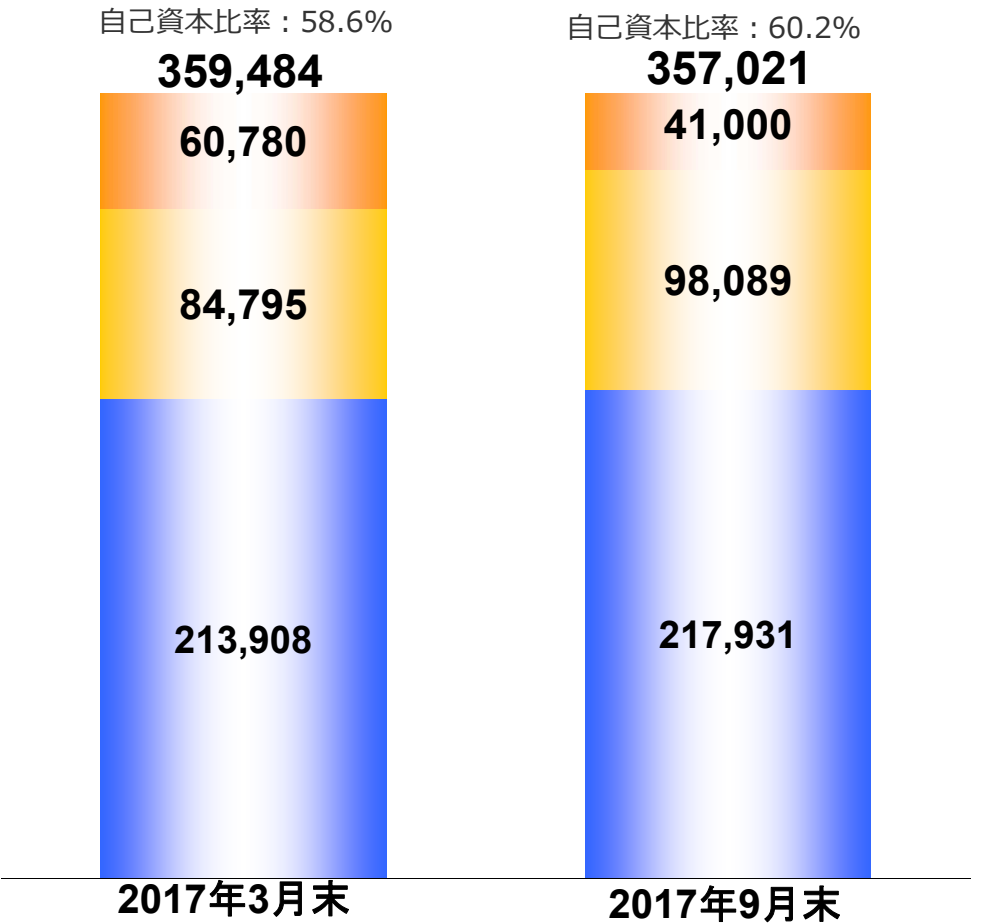
資 産

(単位：百万円)



負債・純資産

(単位：百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

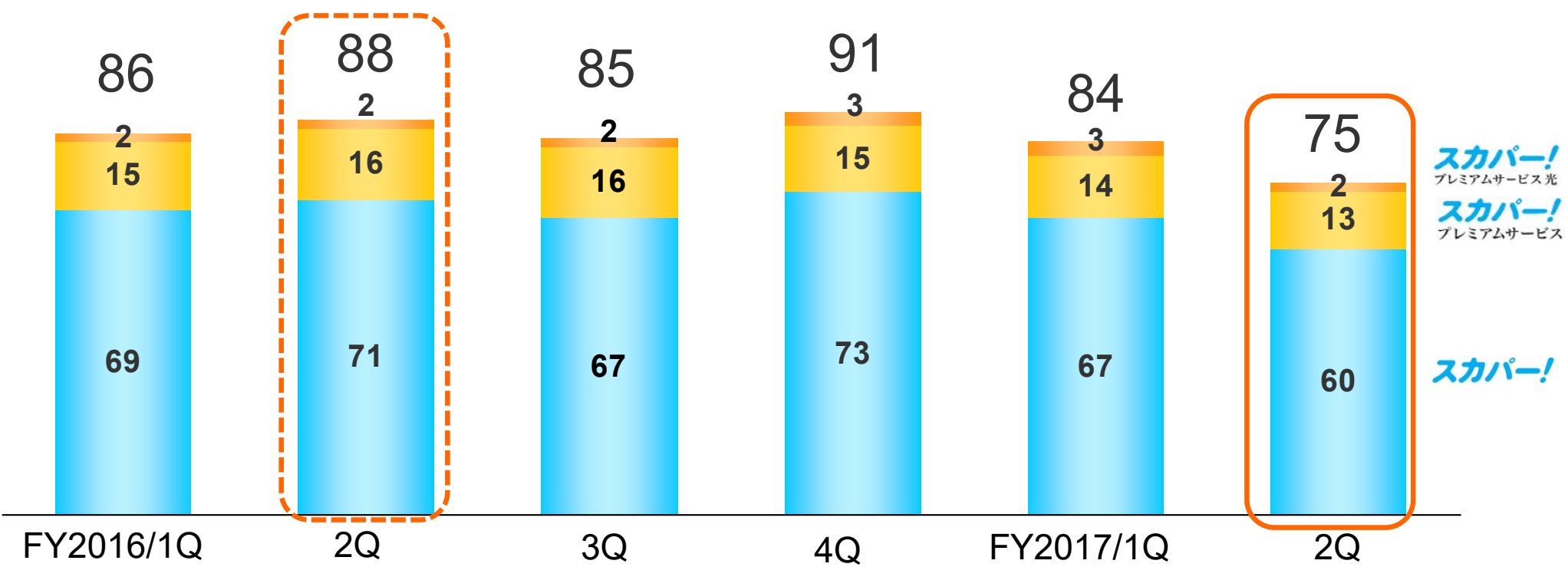
	FY2016/2Q 累計	FY2017/2Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,678	8,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,007	△11,766
フリー・キャッシュフロー (*1)	△3,329	△3,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	5,091
現金及び現金同等物の期末残高(a)	44,598	47,438
有利子負債期末残高 (*2) (b)	65,908	90,901
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	21,309	43,462

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

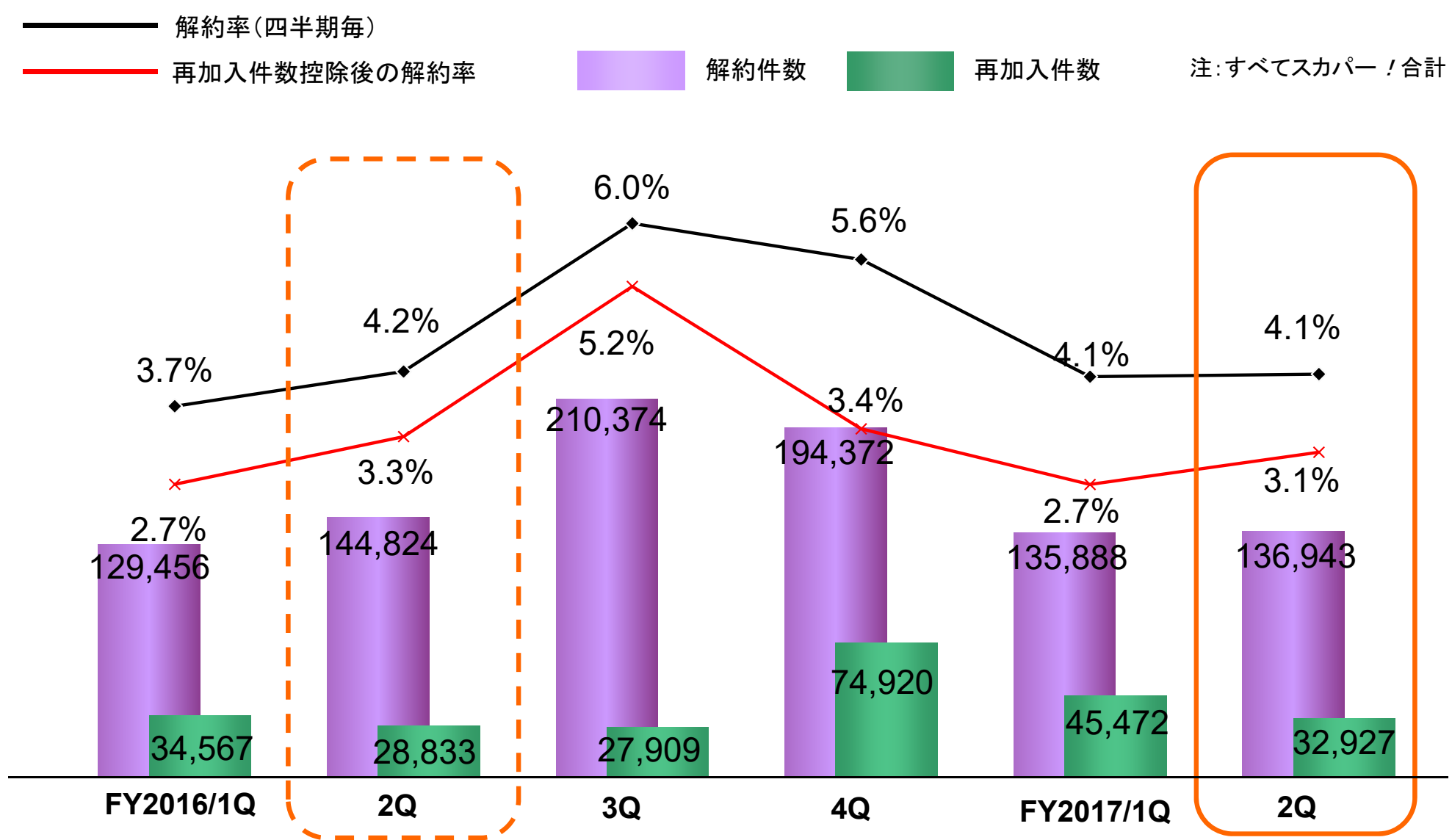
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

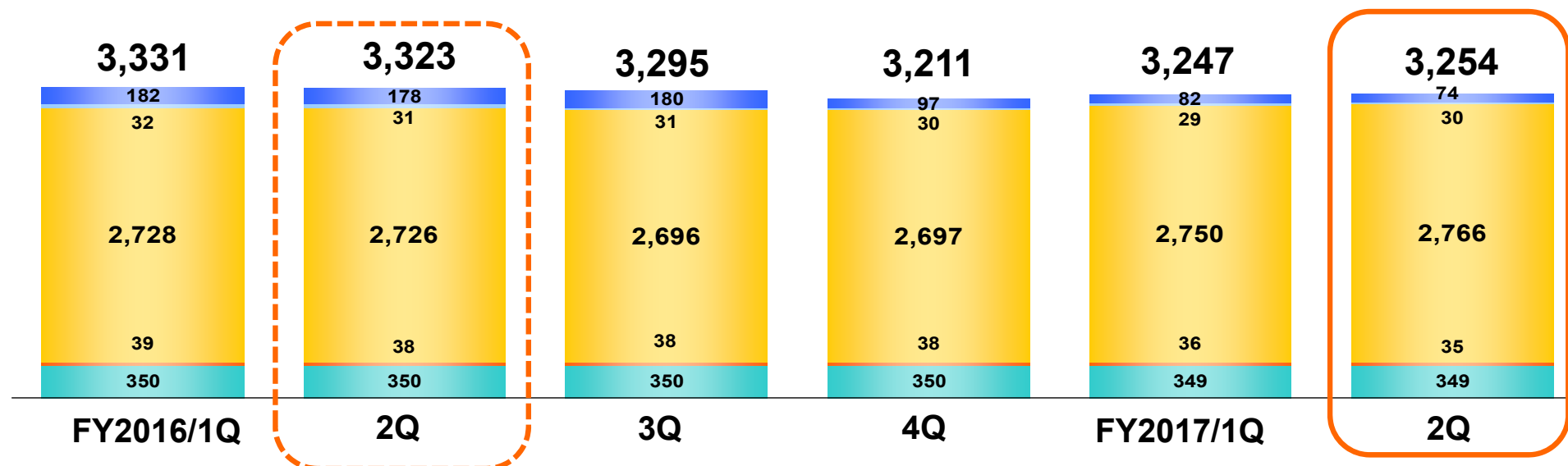


解約率の推移

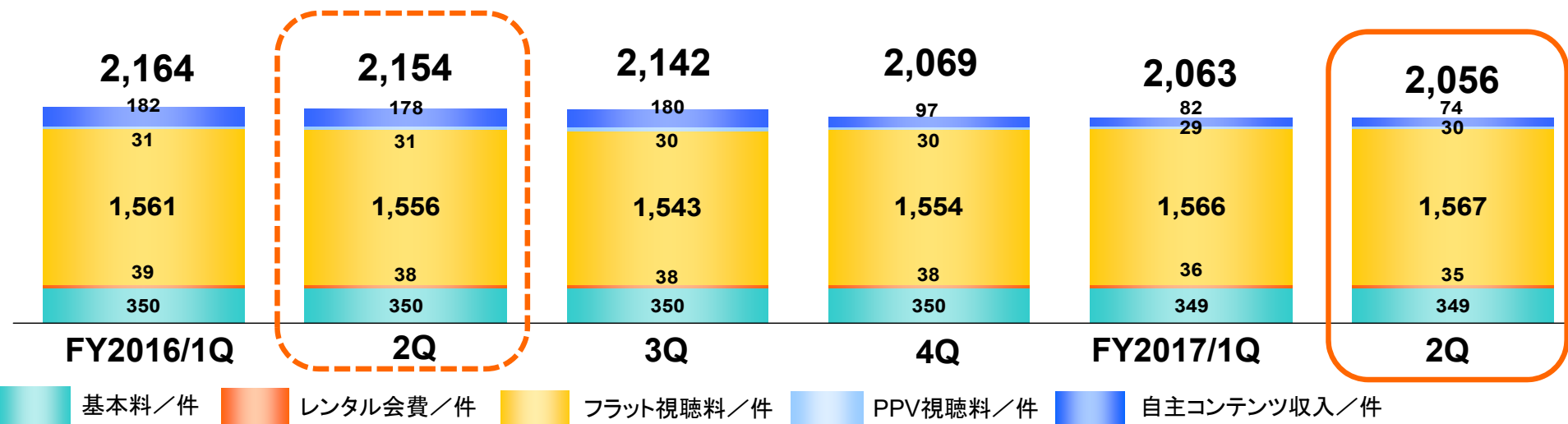


各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)

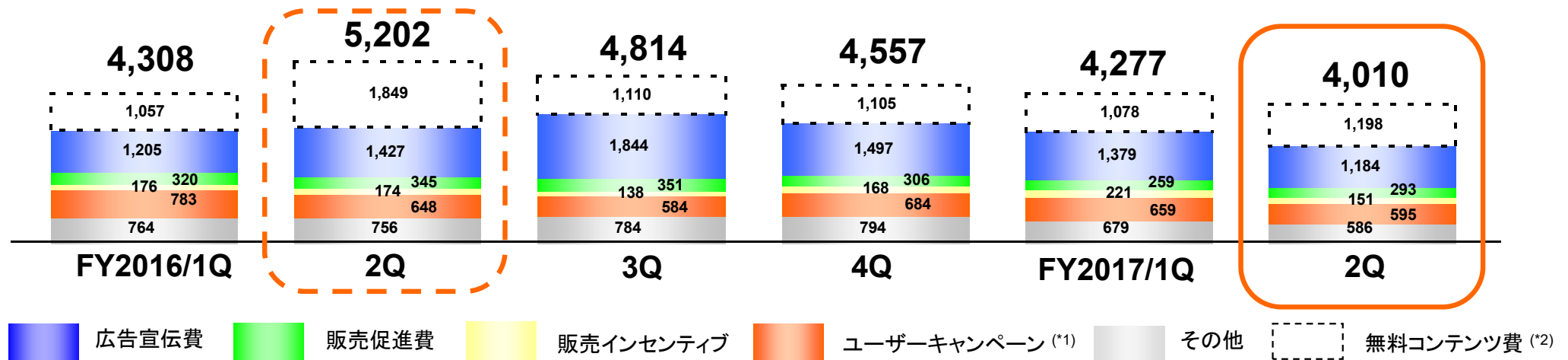


*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

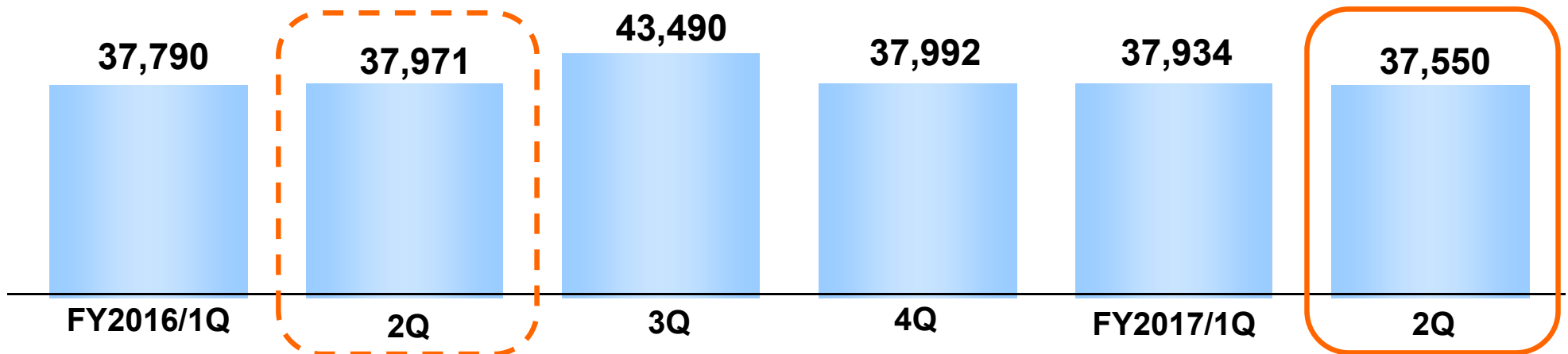
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	SNET	JII	JMC	WWJ	ENR
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業	コンテンツ制作、 番組供給	衛星通信 回線再販等	衛星通信 回線販売	衛星移動 通信サービス	海外向け 日本コンテンツ 配信	産業用 ドローン販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3	60	66.7
営業収益	FY2016/2Q	63,298	3,167	5,448	31,829	1,535	832	1,200	111	146
	FY2017/2Q	57,662	3,011	29,895	1,933	1,366	961	1,226	92	199
営業利益	FY2016/2Q	11,746	208	3	767	9	104	152	△987	△69
	FY2017/2Q	9,457	189	1,070	200	△11	189	149	△1,147	△240
経常利益	FY2016/2Q	11,999	208	3	771	3	132	108	△984	△50
	FY2017/2Q	10,076	190	1,072	200	△8	240	148	△1,144	△224

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET:株式会社スカパー・エンターテイメント

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

WWJ :WAKUWAKU JAPAN株式会社

ENR:株式会社エンルート

※ 2016年12月1日付けで、株式会社スカパー・ブロードキャスティングが東経124/128度CS放送において行う衛星一般放送業務の事業を、株式会社スカパー・エンターテイメントに吸収分割し承継しております。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部